

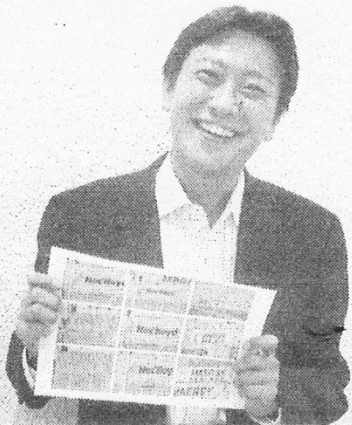
# 港湾マニア？ コンテナマニア？ 海マニア？

## そのマニアに思いを聞きました

自他ともに認める「港湾マニア」、ロジラテジーの

延嘉隆(のぶ・よしたか)代表取締役。同社では物流・SCMのコンサルタント業務を手掛けるが、今回はそれとは一切関係なく、「港湾マニア」、「コンテナマニア」の代表として港への熱い思いを大いに語ってもらった。(敬称略)

かなりの港湾マニアとつががっています。普段



自ら撮影したコンテナ写真を手に笑う延氏

ロジラテジー代表取締役  
青山ロジスティクス総合研究所取締役

### 延 嘉隆氏

どのような活動を。

延 週末には横浜近郊にある自宅から、本牧ふ頭までジョギングしながら港湾の風景を観察するのが定番です。仕事は一切関係なく、純粋な趣味。ガントリークレーンや段積みされたコンテナ、各種港湾施設など、港の景色が無性に好きですね。気になったものを携帯カメラで撮って後で調べます。C、D突堤の荷動き

を見渡すなら、横浜港シンボルタワーがベスト。ふと一人そこを訪れ、入出港するコンテナ船やガントリークレーンの荷役風景を眺めてくつろいだりしています(笑)。

紛れもないマニアですね。港に思い入れを持つに至った背景は。

延 内陸の出身なのですが、地元の工場に引き込み線があり、毎年そこから製品が初出荷されていく様子が新聞の地方欄で大きく報じられていたのを覚えています。引き込み線というものは都会の港につながっている、その先にハッピーなことがある、と子供心に夢見ていたことが影響していると思います。ただその地元の小学校でも、「将来の夢は船長」と公言していたのは私だけでしたが(笑)。

私にとって港は、海外とつながっているというロマンを感じさせてくれる場所です。純粋に港、特に横浜港が好きなので、その現場を支えてきた港運会社の歴史などにも非常に興味があります。

特に好みのコンテナはありますか。

延 Kライン(川崎汽船)です。明け方にもジョギングをするのですが、朝焼けの中で光るKラインの赤いコンテナ。これがもう、最高に格好いい。日中の暑い時間だと、OCCLですね。さわやかじゃないですか、白が多くて(笑)。あの花のロゴも好みます。あとはコスコのパンダ柄入りコンテナもお薦め。こんなことばかり言っていて、かなりの馬鹿だと思われるでしょうね(笑)。

の方々に人気だそうです。

延 「港湾マニア」とも「コンテナマニア」とも呼ばれるか、それとも「コンテナマニア」と呼ぶかは、なかなか難しい議論だと思います。コンテナはもちろん好きですが、例えば変な話、それが厚木に置いてあっても好きなのか? という疑問はある。多分それだと少し違う。おそらく仲間

は一緒だと思えます(笑)。デザインなどコンテナ自体に惹かれる一方で、それがコンテナ船やガントリークレーンと一体となっている港湾全体の雰囲気が好きなのではないでしょうか。「港湾マニア」かつ「コンテナマニア」ということでしょうか。また、「船好き」というのもいるでしょうし、「船好き」は広義に解釈すれば「港湾好き」かもしれない。「港湾好き」、「コンテナ好き」、「海好き」の明確な定義はありませんが、その非常に重要な

定義づけをトミーテックさんが今後、商品を通じてされていくことになるのかもしれないですね。

トミーテックに商品化してほしいものは。

延 私は将来、余裕ができた際には同社のコレクションを「大人買い」して、本牧ふ頭を自宅に作ってみたいと夢見ています(笑)。それには、コンテナ船は必須です。コンテナ船が着岸しないコンテナターミナルがあるのか、と。あとはガントリークレーンも間違いなく必須でしょう。タグボートも外せませんし、できれば埠頭の端の方にはしきも置きたい。これがないと雰囲気が出ない(笑)。上屋などの物流施設や、港運会社の建物もロゴ入りであればいいですし、フェンスも重要ですね。やはり港に入れてしまっただけではまずいので(笑)。あとは無造作に置かれるシャシとか。もっと言えば、車両の通行許可証。80分の1サイズなら、辛うじて見えるかもしれない(笑)。